

1	学校教育目標	自分のよさを伸ばし、かしこく・やさしく・たくましい扇尾の子どもの育成
2	校訓	かしこく・やさしく・たくましく
3	めざす学校・子ども・教師像	楽しい学校・美しい学校・伸びゆく学校 かしこい子ども・やさしい子ども・たくましい子ども 信頼される教師・学ぶ教師・自分に厳しい教師

4 経営目標及び評価項目

項目	中間経営目標	短期経営目標	目標達成のための具体的方策	方策評価	目標評価	成果と課題・改善策案			
かしこく (確かな学力)	○ 「鹿児島定着度調査」、全国学力・学習状況調査の結果で県平均を上回ることができるようにする。	○ 国語、社会、算数、理科の単元テスト及び学期末テストで、得点80点を上回るようにする。	・ 音読を全教科の授業で1時間1回以上行い、既習単元は、すらすら読めるようにする。	3	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導関係は、よく情報交換がされているが学力については、もう少し一人一人の現状や対象等について情報の共有をした方がよい。</li> <li>個別指導のポイントをより明確にし、指導の充実に努めていく。</li> </ul>			
			・ 朝自習の時間や授業の中で、漢字小テストを週に1回以上実施する。	4					
			・ プリントやドリル、小テスト等による復習を、1時間の授業につき1回以上させる(宿題可)。	4					
			・ 単元学習終了後、まとめテストまでに復習(プリントやドリル)を2回以上させる。(宿題可)	4					
			・ 復習やテストの訂正を確実にさせ、目標未達成者には、週1回以上の個別指導を行う。	3					
		○ 学校全体や個々の実態を的確にとらえた共通実践を行う。	・ 個人ケアカルテを学期に1回以上確認(必要に応じて記入)し、指導計画に生かす。	3	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>現状から、「で・と・に」学習は難しいが、今後も問題解決学習は継続していく。</li> </ul>		
			・ 授業5原則、問題解決学習においては8割以上の授業で徹底する。	3					
			○ 自分の思いや考えを相手に伝わるように表現できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の言葉で学習したことやその感想を、授業の中で1回以上発表させる。</li> <li>作文や俳句、絵画等の各種コンクールに、毎学期一人1作品以上出品する。</li> <li>年間読書目標冊数(低100中80高60)を全員達成する。(1学期40%、2学期80%)</li> </ul>				3	3.7
		・ 作文や俳句、絵画等の各種コンクールに、毎学期一人1作品以上出品する。	4						
		・ 年間読書目標冊数(低100中80高60)を全員達成する。(1学期40%、2学期80%)	4						
やさしく (豊かな心)	○ いつでも、誰に対しても、礼儀正しく、思いやりの心をもって接することができるようにする。	○ 基本的な生活習慣を身に付けると共に、楽しく学校生活を送れるようにする。	・ 扇尾七訓について週に1回以上意識化させる活動を行い、週1回以上振り返りをさせる。	3	3.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>扇尾七訓については、職員も月1回程度の振り返り、また、内容の検討も必要である。</li> </ul>			
			・ 教師は、毎日、子ども共に清掃を行い、必要に応じて指導を行う。	4					
			・ 生徒指導事例研修会を月1回以上行い、子どもの現場と指導方針について話し合う。	4					
			○ 道徳授業を充実させ道徳的実践力を高めさせるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳授業や価値が関連する活動で1価値1回以上は、道徳ノートを活用する。</li> <li>月1回の心の教育の日には、必ず道徳の授業を行う。</li> <li>いじめを考える週間(2回)、授業参観(1回)の道徳授業で、人権について保護者と一緒に考える。</li> </ul>			3	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「心の教育の日」「食育の日」など、いつ、どういった内容等を事前に予告していく。</li> <li>保護者と一緒に考える活動を設定していく。通信で道徳の授業内容を知らせたり、家庭で道徳ノートを活用するなどの手立てをとっていく。</li> </ul>
			・ 道徳授業や価値が関連する活動で1価値1回以上は、道徳ノートを活用する。	4					
		・ いじめを考える週間(2回)、授業参観(1回)の道徳授業で、人権について保護者と一緒に考える。	3						
		○ 集団での体験活動を通して、人や自然を思いやる気持ちを育てるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校活動においては、縦割り班活動の場面を、1回以上設ける。</li> <li>花壇の花や栽培植物の世話や観察を、1週間に1回以上させる。</li> </ul>	4	3.5		<ul style="list-style-type: none"> <li>「人権の花」運動への取組は良かったが、植物観察や世話については、充実させる必要があった。</li> </ul>		
			・ 全校活動においては、縦割り班活動の場面を、1回以上設ける。	3					
			○ 自分や友だち、その他の作品を見て、そのよさを感じられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭や教室の掲示を、月1回1か所以上新しいものと入れ替える。(フレッシュ・カラフル・ダイナミック)</li> <li>掲示物について、月1回以上考えさせたり、感想を発表させたりする。</li> </ul>				3	3
		・ 校庭や教室の掲示を、月1回1か所以上新しいものと入れ替える。(フレッシュ・カラフル・ダイナミック)	3						
たくましく (健康な体)	○ 何事も最後まで粘り強くやり通すと共に、健康で安全な生活ができるようにする。	○ 食に関する教育の充実を図り、関心を高められるようにする。	・ 家庭科や学級活動との関連を図りながら、食に関する指導を、年間一人1回以上実施する。	4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭との連携を図りながら、指導の充実をおこなっていく。</li> <li>個人目標に向けての体力づくりが継続する手立てを考えていく。</li> <li>人材活用が効果的で充実した取組であった。</li> </ul>			
			・ 毎月1回の食育の日には、給食時間に、食に関する指導を行う。	3					
		○ 体力テストで、県平均との比較指数が前年を上回るようにする。	・ 体力ナビを活用した個人票を用いて、めあてを明確にさせ、一時間に1回は体力テストで低かった項目の体力を伸ばす運動を取り入れる。	3	3				
			○ 自分や他の命について考えることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>性に関する教育や健康教育の授業を、担任と養護教諭で年2回以上実施する。</li> <li>安全点検を月1回以上実施すると共に、週1回以上の安全に関する指導を行う。</li> </ul>			3	3.5	
		・ 性に関する教育や健康教育の授業を、担任と養護教諭で年2回以上実施する。	4						
		○ 情報発信、学校の公開を進め、地域に開かれ、信頼される学校にする。	○ 情報の発信を積極的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便りを月1回以上、学級だよりを週1回以上発行し、学校の様子を伝える。</li> <li>学校ホームページを、月1回以上更新する。</li> </ul>	4		3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>係以外の職員も更新ができるようにしていく。</li> <li>「若い目」への投稿をこれからも継続していく。</li> <li>ホームページは、冬季休業中及び計画的に更新していく。</li> <li>今後も計画的に実施していく。</li> </ul>	
・ 学校便りを月1回以上、学級だよりを週1回以上発行し、学校の様子を伝える。	3								
○ 地域や保護者の声を取り入れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者へのアンケートを、年間2回実施すると共にPTAや教育相談時の声を取り入れる。</li> </ul>			4	4				
○ 教師の資質向上を目指した研修の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究テーマまたは個人研究テーマに基づく研究授業を年間一人1回以上実施する。</li> <li>個人テーマ研究の成果を年度末までにまとめる。(進捗率1学期40%、2学期80%)</li> </ul>			3		3			<ul style="list-style-type: none"> <li>授業をとおした研修及び講師招聘の研修はより深まりにつながる。</li> </ul>
・ 校内研究テーマまたは個人研究テーマに基づく研究授業を年間一人1回以上実施する。	3								
○ 校務の円滑な推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の担当する校務分掌において、内容の充実に努める。</li> </ul>	3	3						

評価 5 (達成率100%), 4 (達成率80~90%), 3 (達成率60~79%), 2 (達成率50~59%), 1 (達成率50%未満)